

平成 12 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日に、当院で膵臓の手術を受けた方へ

## 研究実施のお知らせ

研究の題名：膵 Solid pseudopapillary neoplasm の画像診断に関する研究

研究期間：医学部附属病院長の許可日～平成 30 年 12 月 31 日

研究責任者：山梨大学医学部外科学講座第一教室 教授 市川 大輔

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の目的と意義について】

膵 solid pseudopapillary neoplasm は膵腫瘍の約 1%といわれるまれな腫瘍である。小児期から比較的若年の成人女性に多いとされている。従来の典型的な画像所見は充実部と嚢胞部が混在する腫瘍であり、比較的大きな腫瘍であるとされてきた。近年ではより小さなサイズの腫瘍や早期の段階で腫瘍が検出されるようになってきており、従来のような典型的な画像所見を示さない症例が増加してきた。さらに比較的高齢者や男性例も少なくなく、通常型の膵癌など他の腫瘍との鑑別に苦慮する症例が増加してきている。膵 solid pseudopapillary neoplasm の画像所見に関するまとまった報告はいくつか存在するが、dynamic study の遅延相の造影パターンまで論じた論文は少ない。また、これらの論文を参照しても鑑別に苦慮するような症例は少なくなく、いかに術前に正確に診断することができるかが臨床的に非常に重要である。本研究では膵 solid pseudopapillary neoplasm の CT、MRI 所見を視覚的、定量的に評価し、他の膵腫瘍との鑑別能について検討する。

### 【研究の方法について】

CT：術前 CT を当科の読影端末にて評価する。

- ① 単純 CT、動脈優位相、門脈優位相、遅延相のそれぞれの膵実質、腫瘍の CT 値計測と膵一腫瘍コントラストを算出。
- ② 視覚評価による形態評価、内部性状評価。

MRI：術前 MRI を当科の読影端末にて評価する。

- ① T2WI、T1WI、DWI、dynamic study におけるそれぞれの相の膵実質、腫瘍の信号計測と膵一腫瘍コントラストを算出。
- ② 視覚評価による形態評価、内部性状評価。

臨床項目：電子カルテから以下の項目について評価する。

- ① 年齢、性別
- ② 術前腫瘍マーカー、膵酵素
- ③ 背景膵疾患

総合画像診断

- ① 上記で計測・算出、評価した CT、MRI、臨床項目の所見やデータを組み合わせて、solid pseudopapillary neoplasm が他の膵腫瘍と鑑別できる最も優れた組み合わせを ROC 解析にて算出する。
- ② 上記で計測・算出、評価した CT、MRI、臨床項目の所見やデータを使用して、ベイズ理論を応用する

ことにより、solid pseudopapillary neoplasm の鑑別能を向上させる。

※ 多施設共同研究

※ 試料・情報を利用する者の範囲

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科

東京大学大学院 医学系研究科 生体物理医学専攻 放射線医学講座

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていることはありません。

また、この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 佐野勝廣

共同研究機関及び研究責任者

東京大学大学院 医学系研究科 生体物理医学専攻 放射線医学講座 阿部 修

山梨大学大学院 総合研究部医学域 臨床医学系 外科学講座第一教室 市川 大輔

### 【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

### 〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部外科学講座第一教室

助教 川井田 博充

メールアドレス：kawaidah@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-7390